

平成 30 年度 第 2 回 岩手県企業局経営評価委員会

平成 30 年 11 月 19 日（月） 15:00 ～ 17:00

エスポワールいわて 1 階小会議室

（岩手県盛岡市中央通一丁目 1-38）

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ（藤澤企業局長）
- 3 委員長選出
- 4 議 事
 - （1）平成 30 年度の上半期の評価について
 - （2）次期長期経営方針の検討状況について
 - （3）その他
- 5 その他
- 6 閉 会

配付資料

- 資料 1 平成 30 年度 評価の総括（上半期）（案）
- 資料 2 平成 30 年度 経営評価総括表（上半期）（案）
- 資料 3 平成 30 年度 行動計画取組状況一覧表（上半期）（案）
- 参考資料 1 岩手県企業局経営評価委員会設置要領
- 参考資料 2 平成 30 年度第 1 回企業局経営評価委員会における意見とその対応
- 参考資料 3 平成 30 年度 供給停止の原因とその対応一覧
- 参考資料 4 次期長期経営方針の検討状況について

平成 30 年度 第 2 回 岩手県企業局経営評価委員会 出席者名簿

平成 30 年 11 月 19 日 (月) 15:00 ~ 17:00

エスポワールいわて (岩手県盛岡市中央通一丁目 1-38) 1 階小会議室

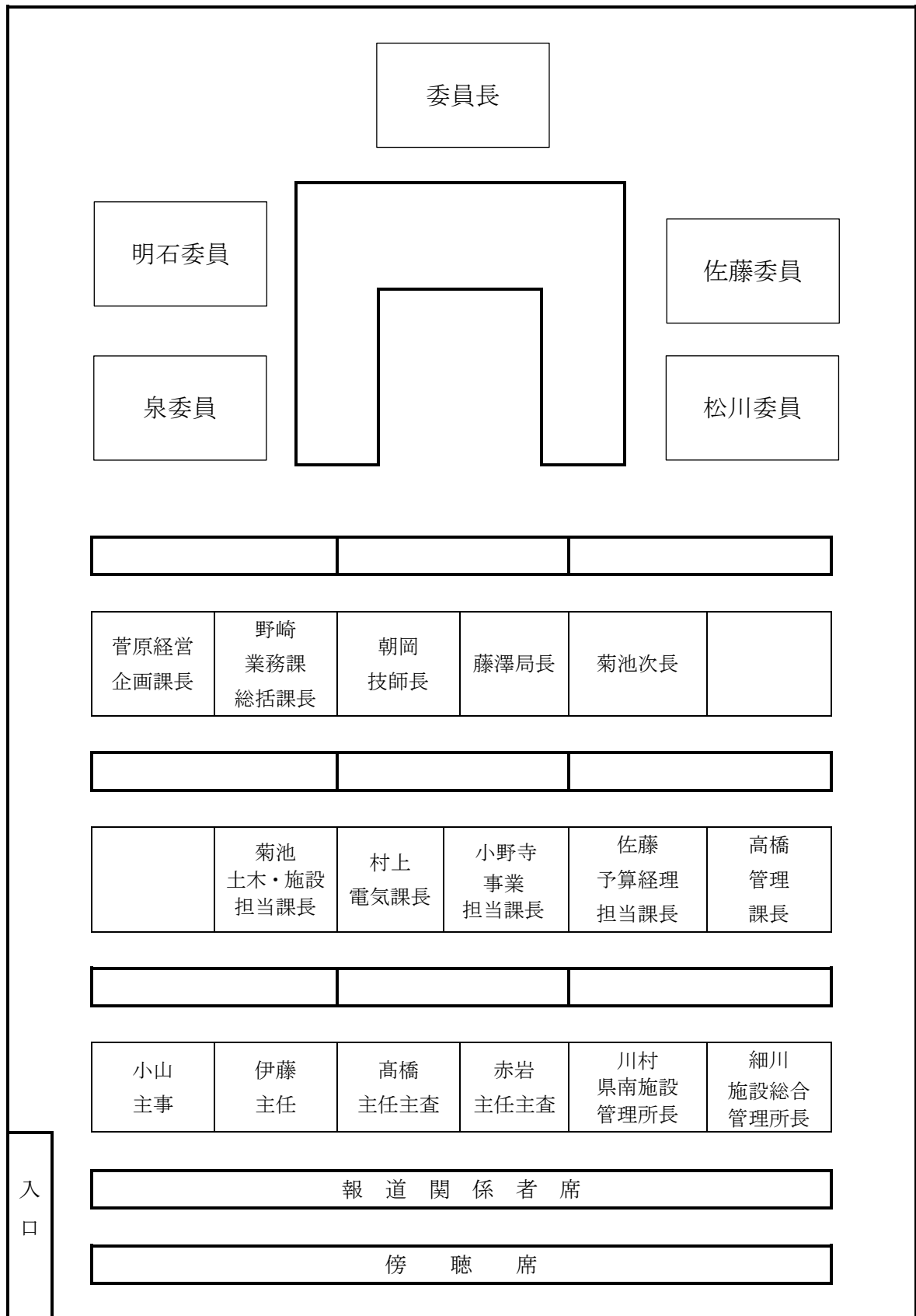
委員	一関工業高等専門学校 副校長	あかし なおゆき 明石 尚之	
〃	岩手県立大学総合政策学部 准教授	いずみ けいこ 泉 桂子	
〃	いわて生活協同組合 常務理事	かねこ せいこ 金子 成子	欠席
〃	早稲田大学 研究院 准教授	さとう ゆうや 佐藤 裕弥	
〃	盛岡ガス株式会社 常務取締役総務部長	まつかわ けん 松川 顕	
企業局	局長	ふじさわ あつこ 藤澤 敦子	
〃	次長兼経営総務室長	きくち みつる 菊池 満	
〃	技師長	あさおか かおる 朝岡 薫	
〃 (経営総務室)	管理課長	たかはし けいぞう 高橋 啓三	
〃	予算経理担当課長	さとう たくや 佐藤 卓也	
〃 (業務課)	総括課長	のぎき ゆたか 野崎 裕	
〃	事業担当課長	おの であら しげお 小野寺 重男	
〃	電気課長	むらかみ としひろ 村上 敏弘	
〃	土木・施設担当課長	きくち すすむ 菊池 晋	
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	ほそかわ ひろもと 細川 普基	
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	かわむら よういち 川村 陽一	
事務局	経営総務室 経営企画課長	すがわら かつひろ 菅原 克浩	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	あかいわ まさあき 赤岩 正昭	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	たかはし ひろし 高橋 浩	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	いとう ゆういち 伊藤 友一	
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	おやま かつや 小山 勝矢	

(委員 50 音順 敬称略)

出席者数 20 名

平成 30 年度 第 2 回 岩手県企業局経営評価委員会 座席表

エスポワールいわて（岩手県盛岡市中央通一丁目 1-38）1 階小会議室



委員長

明石委員

佐藤委員

泉委員

松川委員

菅原経営
企画課長

野崎
業務課
総括課長

朝岡
技師長

藤澤局長

菊池次長

菊池
土木・施設
担当課長

村上
電気課長

小野寺
事業
担当課長

佐藤
予算経理
担当課長

高橋
管理
課長

小山
主事

伊藤
主任

高橋
主任主査

赤岩
主任主査

川村
県南施設
管理所長

細川
施設総合
管理所長

入口

報道関係者席

傍聴席

平成 30 年度第 2 回 岩手県企業局経営評価委員会 タイムスケジュール

平成 30 年 11 月 19 日 (月) 15 : 00 ~ 17 : 00

エスポワールいわて (岩手県盛岡市中央通一丁目 1-38) 1 階小会議室

内 容	予定時間	備考
1 開会 2 あいさつ	15 : 00 ~ 15 : 15	
3 委員長の選出について	15 : 15 ~ 15 : 20	参考資料 1
4 議 事 (1) 平成 30 年度の上半期の評価について	15 : 20 ~ 16 : 35	資料 1 資料 2 資料 3 参考資料 2 参考資料 3
(2) 次期長期経営方針の検討状況について	16 : 35 ~ 16 : 45	参考資料 4
(3) その他	16 : 45 ~ 16 : 50	
5 その他	16 : 50 ~ 16 : 55	
6 閉会	16 : 55 ~ 17 : 00	

平成 30 年度 評価の総括（上半期）

1 経営目標、行動計画の取組に係る評価の一覧

経営目標			目標 (平成 30 年度)	H30 上期達成状況			行動 計画
				上期目標	実績	評価	
電気 事業	①電力システム改革 への対応	平成 32 年度以降の売電方法決定	H28～H31	—	—	—	良好
		集中監視制御システム改修	H28～H31	—	—	—	
	②信頼性の確保	供給電力量(MWh)	565, 137	361, 685	401, 354	達成	良好
		発電施設等の耐震化率(%)	75	—	—	—	
	③経済性の確保	経常収支比率(%)	104	—	—	—	良好
	④新規 開発	高森高原 風力	建設工事	H28. 4～H30. 9	—	—	概ね 達成*
築川		建設工事	H28. 10～H32. 3	—	—	—	
工業 用水 道事 業	⑤信頼性の確保	基本料金算定水量(千m ³)	14, 304	7, 179	7, 220	達成	良好
		配管耐震化率(%)	60	—	—	—	
	⑥経済性の確保	経常収支比率(%)	101	—	—	—	良好
共通 的 事項	⑦地域貢献	温室効果ガス排出量の削減	110 t 以上/年	—	—	—	良好
	⑧組織力の向上	専門研修受講者数	410 人(延べ)/年	—	—	—	良好

2 評価の概要

平成 30 年度上半期は、電気事業、工業用水道事業とも概ね計画に沿って推移しており、供給電力量及び基本料金算定水量の上期目標を達成しました。

また、高森高原風力発電所の建設工事（舗装工事、周辺環境整備等）は、概ね計画どおりに進捗し 9 月 28 日に大部分が完成しましたが、一部の工事が 12 月完成の見込みであるため、目標は「概ね達成」、行動計画は「概ね良好」と評価しました。（※）

なお、④新規開発以外の取組は「良好」と評価しています。（事業別の評価は以下のとおり）

3 事業別の評価

◎ 電気事業

- ① 電力システム改革への対応では、平成 32 年度以降の売電方法について、具体的な入札・契約方法の検討などを進めており、概ね今年度中に来年度行う売電先選定に係る準備を進める予定です。また、平成 29 年度に改修した集中監視制御システムにより実際の運用におけるデータを収集し、インバランス量の把握やその要因の分析等を進めているなど、行動計画の取組は良好と評価しました。
- ②・③ 信頼性、経済性の確保の経営目標については、水力発電の出水率が好調であったことなどから、供給電力量は目標を達成しました。また、行動計画については、平成 29 年度に発生した北ノ又第二発電所付近の地すべりの影響で一部工事を見送り、工事の実施は国の対策工事の進捗を見ながら判断することとしています。そのほかの取組は概ね計画どおりに進捗しており、良好と評価しました。
- ④ 新規開発では、築川発電所で第 8 回の基礎地盤検査を受検するなど、計画どおりに進捗しています。

◎ 工業用水道事業

- ⑤・⑥ 信頼性、経済性の確保の経営目標については、上半期に施設の故障等によるユーザーへの供給停止が発生しなかったことや、雑用水供給の申込みに伴い基本使用水量が若干増となったことから、基本使用水量は目標を達成しました。また、行動計画については、平成 29 年度に策定したアセットマネジメント計画を反映した年度別事業実施計画を策定したほか、工事等の合冊発注を行って費用の削減に努めており、取組は良好と評価しました。
- ⑤ 新たな水需要への対応では、新浄水場建設について大規模事業評価専門委員会に諮り、事業実施は妥当と評価されたことから、引き続き関係機関と緊密に連携し、既設設備の改修及び新浄水場の建設等を適切に進めていきます。

◎ 共通的事項

- ⑦ 地域貢献の経営目標については、クリーンエネルギー導入支援事業や植樹活動支援事業を計画どおりに実施しており、年度末には目標を達成できる見込みです。また、行動計画については、新たにみずりん・みどりんの LINE スタンプを作成し PR に取り組んでいるほか、いわて復興パワーについては、9 月末時点で 537 件の申請を受理し、対象企業等の 1 年間の電気料金約 1 億 7 千万円が低減される見込みであるなど、取組は良好と評価しました。
- ⑧ 組織力の向上の行動計画については、平成 29 年度の職員満足度調査の結果を受け、新たにマネジメントに関する研修を実施したほか、「局長等と職員との意見交換会」や「局長と女性職員の意見交換会」を開催するなど、職場環境改善や職員のモチベーション向上に取り組んでおり、取組は良好と評価しました。

I 電気事業

（取組分野） ① 電力システム改革への対応

1 経営目標の達成状況														
【経営目標】 ○卸規制撤廃への対応 <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組</th> <th>進捗目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 32 年度以降の売電方法決定</td> <td>H28～H31</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ○計画値同時同量制度導入への対応 <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組</th> <th>進捗目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集中監視制御システム改修</td> <td>H28～H31</td> <td>一部実施済*</td> </tr> </tbody> </table> ※目標実績は、進捗目標期間終了後に記載 ※H30.3 一部実施済		取組	進捗目標	実績	平成 32 年度以降の売電方法決定	H28～H31		取組	進捗目標	実績	集中監視制御システム改修	H28～H31	一部実施済*	≪参考（電力システム改革による影響）≫ ○ 電気事業類型の見直し 電気事業の類型が「発電」と「送配電」、「小売」の3つに再編され、企業局は卸供給事業者から発電事業者になりました。 ○ 卸規制の撤廃 これまで企業局は「卸供給料金算定規則」に基づき売電料金を算定して電力会社と受給契約を締結してきましたが、平成 28 年 4 月から同規則が廃止されたことから、次回（平成 32 年度）以降の電力受給契約では、売電先や料金算定方法の検討が必要となります。 ○ 計画値同時同量制度の導入 これまで 1 時間単位で計画・調整していた電力供給が 30 分単位となり、さらに、計画値と実供給（インバランス量）の差がペナルティー（インバランス料金）として発生するので、より精度の高い 24 発電所の運転制御を行う必要があり、集中監視制御システムの改修を検討します。
取組	進捗目標	実績												
平成 32 年度以降の売電方法決定	H28～H31													
取組	進捗目標	実績												
集中監視制御システム改修	H28～H31	一部実施済*												
【達成状況等】 ○平成 32 年度以降の売電方法の検討については、具体的な入札・契約方法の検討や売電単価の算出に必要な長期収支見通しの作成を進めており、概ね今年度中に売電の方向性について取りまとめを行う予定です。 ○計画値同時同量制度導入への対応については、平成 29 年度に改修した集中監視制御システムにより実際の運用におけるデータを収集し、インバランス量の把握やその要因の分析等を進めています。														
2 行動計画の主な取組状況等（成果等）														
○平成 32 年度以降の売電方法の検討に当たっては、局内に特定課題検討グループを設置し、売電に関する基本的な方向性や具体的な入札・契約方法の検討、売電単価の算出に必要な長期収支見通しの作成を進めています。 ○県内の新電力に対して、企業局からの電力購入などについてアンケートを実施したほか、東北電力(株)との打合せにおいてバランシンググループの取扱いなどの情報収集を行い、売電に係る課題や想定される入札・契約方法の検討を進めています。 ○非化石価値取引の説明会や公営電気事業経営者会議の総務経営委員会などに出席し、電力システム改革に関する情報の収集に取り組んでいます。 ○電力システム改革関連の制度が検討されている国の審議会や公営電気事業経営者会議で収集した電力システム改革関連の情報等を随時局内に提供し、情報共有に努めています。 ○計画値同時同量制度導入への対応については、局内で勉強会を開催し、今後検討すべき課題やスケジュールについて整理を行ったほか、インバランス量の把握や他事業者等の情報収集などを進めています。														
3 問題点等														
○ 特になし														
4 中間評価（上半期）														
行動計画の取組：良好 ○平成 32 年度以降の売電方法については、具体的な入札・契約方法の検討を進めているなど、概ね計画どおり進捗しており、行動計画の取組は良好と評価しました。 ○計画値同時同量制度導入への対応については、インバランス量の把握やその要因の分析を進めながら情報収集などに取り組んでおり、行動計画の取組は良好と評価しました。														
5 今後の課題・取組														
○平成 32 年度以降の売電方法の検討では、具体的な入札・契約方法等の課題や対応等について検討を進め、検討グループでの報告書の取り纏めを行います。 ○引き続き電力システム改革に関する情報収集を行います。 ○計画値同時同量制度導入への対応については、引き続きインバランス量のデータ整理・分析や他事業者等からの情報収集を行い、バランシンググループの取扱いなどにより、必要に応じて更なる改修の検討を行います。														

参考

○ 非化石価値取引市場

現在、卸電力取引所を経由した電気に関しては、非化石電源と化石電源の特定がなされていないため、小売電気事業者にとって非化石電源比率を高める手段として活用できず、本来の非化石価値が埋没しており、また、FIT 電気の持つ環境価値については、現状、賦課金負担に応じて全需要家に均等に帰属するものと整理されていますが、国民負担の軽減を図る観点から、その価値を顕在化するような制度設計の在り方についての更なる検討が求められているところです。

こうした中、非化石価値を顕在化し、取引を可能とする新たな市場（非化石価値取引市場）が日本卸電力取引所（JEPX）に創設され、第 1 回入札（平成 29 年度分）が平成 30 年 5 月 18 日に、第 2 回入札（平成 30 年度分）が平成 30 年 8 月 10 日に実施されましたが、約定量はそれぞれ全体の約 0.01%と低調な結果となりました。

なお、FIT 以外の非化石価値取引については、平成 31 年度に開始される予定です。

○ 容量市場

小売全面自由化以降、卸電力市場の取引拡大や、FIT 制度等に伴う再エネの導入拡大によって、中長期的に国全体で必要となる供給力・調整力を確保するための設備（主に火力）の新設や維持が困難になっていく懸念があります。

こうした懸念に対応するため、①あらかじめ市場管理者（広域機関）が需要のピーク時に電気を確実に供給できる能力（kW）を確保し、②実需給時に能力に応じて、発電事業者に一定の費用を支払う容量市場を導入。投資の予見性を高めることで、適切な発電投資を促す仕組みです。

市場管理者である広域機関が実需給の数年前から容量オークションを開催して kW 価値を一括確保した後、小売電気事業者等から必要な費用を徴収し、落札者への支払を行う仕組み。平成 32 年度に市場を開設し、オークションを開始する予定です。

○ 需給調整市場

一般送配電事業者が、周波数調整や需給調整を行うための調整力を、市場を通じてより効率的に調達・運用するため、2020 年度目途に創設することが検討されています。

○ バランシンググループ

インバランスを算定する対象となる単位で、小売電気事業者のバランシンググループを「需要バランシンググループ」、発電者のバランシンググループと「発電バランシンググループ」といいます。

グループ全体で同時同量を達成することとなり、グループ規模が大きくなるほどインバランスが生ずるリスクが低減することとなります。

インバランスの調整やインバランス料金の精算は、グループの代表者（または委任された第三者）が行います。

○ ベースロード市場

安価なベースロード電源（石炭火力、大型水力、原子力等）の多くは、大手電力が保有・長期契約しており、新電力によるアクセスが困難な状況。卸市場活性化の障壁の一つとなっています。

このため、大手電力に対し、自己のベースロード電源の卸供給料金と比して不当に高くない水準の価格で、ベースロード電源を市場に供出することを求め、新電力にベースロード電源へのアクセス機会を付与するベースロード市場を 2019 年に創設することが検討されています。

○ 送電網の維持費用負担

これまで送配電関連設備の費用は、接続時の発電事業者による特定負担を除き小売事業者が一律に基本料金・従量料金で負担しています。

また、需要が伸び悩む一方で、電源の連系ニーズ増大により送配電関連設備を増強しなければならない場合が増加していること等から、送配電関連設備に係る適正な費用負担の在り方が課題となっています。

そこで、配電網の維持・運用コストの抑制・低減や負担の公平性の観点、電力システム全体としてのコスト低減のため、立地や発電容量などの観点も含めて、発電事業者への負担の在り方を検討しているものです。

○ 電源接続案件募集プロセス

電力広域的運営推進機関により制定された系統アクセスのルール。近隣の電源接続案件の可能性を募り、複数の発電事業者により系統の工事負担金を共同負担して系統増強を行う手続きのことで。

北東北エリアにおいては、上位系統の容量が不足し、新たな電源が接続できない状態が続いています。このため、平成 28 年 10 月にこのエリアにおける大規模（工期 11 年）な募集プロセスが開始され、当初は平成 30 年 1 月頃の入札を予定されていました。しかし、国から送電線の出力制御率の見直しを求められたことなどからスケジュールが変更され、入札は平成 30 年 8 月に実施されました。

今後、募集プロセスは優先検討連系希望者決定（H30. 11 月下旬）や、再接続検討結果の回答（H31. 3 月下旬）を経て、平成 31 年 4 月頃に完了する予定です。

なお、工期は 11 年を予定されていることから、系統の増強工事の期間中においても、発電事業者の系統連系が可能となるような当面の系統運用（暫定的な対策による早期連系）が検討されています。

○ 第 5 次エネルギー基本計画

エネルギー基本計画は、エネルギー政策の基本的な方向性を示すためにエネルギー政策基本法に基づき政府が策定するものです。

エネルギーを巡る国内外の情勢変化を踏まえ、2030 年、更に 2050 年を見据えた新たなエネルギー政策の方向性を示すものとして、平成 30 年 7 月に 4 年振りに新しい基本計画が閣議決定されました。

第 5 次エネルギー基本計画では、再生可能エネルギーの主力化や FIT 制度に係る国民負担の抑制などについて取組むとされています。

I 電気事業
（取組分野） ② 信頼性の確保

1 経営目標の達成状況										
【経営目標】				【参考指標】						
○供給電力量				○供給停止件数・時間・電力量						
	年間	1/4	2/4	上半期計	3/4	4/4	評価			
目標 (MWh)	565, 137	215, 098	146, 587	361, 685	86, 689	116, 763	達成			
実績 (MWh)	401, 354	244, 396	156, 958	401, 354						
率 (%)	71.0	113.6	107.1	110.1						
○発電施設等の耐震化				○風力発電所の利用可能率 (%)						
	目標 (%)	実績 (%)	評価		指標	1/4	2/4	3/4	4/4	年計
	75	—	—		稲庭高原風力	89	84	92		
※耐震化工事終了後に記載					高森高原風力	95	96	85		
【達成状況等】										
○ 水力発電は、出水率、降水量とも平年を上回ったことから、上半期の供給電力量達成率は <u>112.0%</u> と計画を上回りました。										
○ 風力発電は、稲庭では平均風速が平年並みでしたが、高森では 98.3%と平年を下回ったことなどから、供給電力量達成率は <u>95.4%</u> と若干計画を下回りました。										
○ 太陽光発電は、日射量は概ね平年どおりでしたが、電力量達成率は <u>112.8%</u> と計画を上回りました。										
○ 水力、風力、太陽光合計の供給電力量達成率は <u>110.1%</u> と計画を上回り、上半期の目標を達成しました。										
2 行動計画の主な取組状況等（成果等）										
○ 2 件の供給支障が発生しましたが、迅速な復旧作業に努め、停止時間の短縮を図るなど適切に対応しています（別紙「供給停止の原因とその対応」参照）。										
○ 作業前の TBM-KY、作業後の反省会を定期的に行い安全作業に努めるほか、電気主任技術者による保安パトロールを実施し、作業時の安全体制について確認しました。										
○ 仙人、入畑発電所において、電気事業法に基づく立入検査を受検し、法令違反等もなく、指摘事項もありませんでした。										
○ 平成 29 年度に発生した北ノ又第二発電所の地すべりについては、随時国と情報共有を行っているほか、今年度実施予定であった北ノ又発電所取水堰堤補修工事は、打合せの結果、見送ることとしました。また、地すべり調査解析業務委託を発注し、導水路の変状調査により現状では変状がないことを確認しているほか、変位状況の監視も行っています。										
○ 北ノ又発電所キュービクル更新などの大規模工事については、一部工事の発注に遅れが生じていますが、全体計画に影響はない見込みです。										
○ 今年度も河川法協議を確実に実施するため勉強会を開催し、事例等の情報共有を行いました。また、早期に協議に着手するとともに、設計段階から事前協議を開始するなど、計画どおり手続きを進めています。										
○ 風力発電設備の定期安全管理検査制度への対応については、制度に基づき適切に定期検査を実施しました。（稲庭：上期実施、高森：点検終了、報告書作成中）										
○ 発電施設等の耐震化では、2 施設の耐震化設計と 2 施設の耐震診断を発注し、業務を進めています。										
3 問題点等										
○ 今年度実施を見送った北ノ又発電所取水堰堤補修工事については、国の地すべり対策の進捗を見ながら実施時期を判断します。										
4 中間評価（上半期）										
経営目標：上半期は目標を達成 行動計画の取組：良好										
○ 経営目標については、供給電力量が目標を達成しました。発電施設の耐震化についても計画どおり耐震化設計等が進捗しており、目標は達成できる見込みです。										
○ 行動計画の取組については概ね計画どおりに進捗しており、良好と評価しました。										
5 今後の課題・取組										
○ 河川法協議を確実に実施するため、本局担当課でスケジュール確認などのフォローアップに努めていきます。										
○ 国などの各共同事業者と適宜打合せを実施し、計画的に工事等を進めていきます。										
○ 北ノ又第二発電所の地すべりについては、今後も監視を継続しながら、国と連携して対策を検討していきます。										

参考

■ 四半期毎の状況

○ 供給電力量電源別内訳 (MWh)

	年間	1/4	2/4	上半期計	3/4	4/4
水力	510,422	201,111	136,856	337,967	72,120	100,355
	378,563	230,226	148,337	378,563		
	74.2	114.5	108.4	112.0		
風力	53,378	13,528	9,345	22,873	14,336	16,169
	21,838	13,666	8,172	21,838		
	40.9	101.1	87.4	95.4		
太陽光	1,337	459	386	497	233	259
	953	504	449	953		
	71.3	109.8	116.3	112.8		
合計※1	565,137	215,098	146,587	361,685	88,120	128,428
	401,354	244,396	156,958	401,354		
	110.1	113.6	107.1	110.1		

上段：目標 下段：実績

※端数処理のため合計は一致しないことがある

○ 気象データ (%)

	1/4	2/4	上半期計	3/4	4/4
出水率	115.7	96.1	108.1		
降水量平年比	132.1	102.9	113.6		
平均風速平年比	97.9	108.5	102.3		
日射量平年比	98.1	102.0	99.8		

○ 供給停止件数の過去平均と原因別比較

区分	参考指標	H28	H29	H30	H31
人的ミス等	1	2	1	0	
設備不良等	2	2	2	2	
自然現象等	0	0	0	0	
合計	3	4	3	2	

※参考指標：平成 22～27 年度の供給停止件数の平均値

○ TBM-KY

工事や製造などの作業に従事する作業者が、事故や災害を未然に防ぐことを目的に、その作業に潜む危険を予想し、指摘しあう訓練のこと。

➤ TBM (Tool Box Meeting)

工具箱（ツール・ボックス）に座って行うことがあることからこのような名称がついています。

➤ KY (Kiken Yochi)

危険予知の頭文字をとって KY 訓練/KY 活動(KYK)とも呼びます。

《 工事の概要 》

○ 水車発電機等分解点検（オーバーホール）

水車発電機の安全性を確保するため、概ね 10 年周期で行う水車発電機の精密点検のことで、水車発電機を分解し、劣化部品等の検査・交換などを行います。

平成 30 年度は入畑発電所でオーバーホールを行う予定です。

《 発電所施設の耐震化 》

○ 建築物<発電施設及び管理所等>（経営目標対象施設）

対象施設：20 か所

耐震化済：15 か所

今後の予定

H30：耐震化診断（滝、仙人）

耐震設計（岩二、逆川）

H31：耐震設計（滝、御所）

※H30 までに耐震化診断を完了予定。全施設耐震化は H35 年を予定

○ 電力土木施設（経営目標対象外の設備、参考扱い）

耐震化対象施設

35 か所

未耐震化施設

35 か所

今後の予定

H30：耐震化診断（逆川鉄管、仙人取水塔）

耐震化設計（濁川サイフォン）

H31：耐震化設計（逆川鉄管）

※発電所の長期停止に併せ、順次耐震化を推進

I 電気事業
（取組分野） ③ 経済性の確保

1 経営目標の達成状況																																																																																																												
【経営目標】 ○ 経常収支比率 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>目標 (%)</th> <th>実績 (%)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>104</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				目標 (%)	実績 (%)	評価	104	—	—	○ 収入・支出の状況（百万円 税抜） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>予算額</th> <th>実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収益</td> <td>6,150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常費用</td> <td>5,908</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>242</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※中間決算：経常収益 3,285 百万円、経常費用 2,026 百万円 ※経常収益には、下記参考欄の電力料収入のほか、財務収益や事業外収益が含まれています。				予算額	実績額	経常収益	6,150		経常費用	5,908		経常利益	242																																																																																					
目標 (%)	実績 (%)	評価																																																																																																										
104	—	—																																																																																																										
	予算額	実績額																																																																																																										
経常収益	6,150																																																																																																											
経常費用	5,908																																																																																																											
経常利益	242																																																																																																											
【達成状況等】 ○ 上半期の料金収入は、供給電力量が計画を上回ったことに伴い、 <u>106.5%</u> と計画を上回りました。 ○ 主要工事については、概ね計画どおりに発注または契約手続きを進めています。																																																																																																												
2 行動計画の主な取組状況等（成果等）																																																																																																												
○ 運転開始から 60 年を超えた胆沢第二発電所について、土木施設や電気設備を含めた総合的な再開発を検討するため、再開発調査業務委託を発注し、検討を進めています。 ○ 技術担当課長会議及び特定課題検討グループ（電機、土木）において、 <u>局内の水車発電機分解点検補修工事の状況調査</u> などを実施し、より効率的な維持管理方法等について検討を行っています。 ○ 電源接続案件募集プロセスについては、 <u>応募地点のうちで経済的・技術的に優位な地点について</u> 応札しました。 ○ 未利用資産のうち、愛宕荘跡地について、 <u>一般競争入札を行いましたが入札参加者がなかったため、先着順による売払（随意契約）へ移行するなど、売却に向けて</u> 手続きを進めています。																																																																																																												
3 問題点等																																																																																																												
○ 特になし																																																																																																												
4 中間評価（上半期）																																																																																																												
経営目標：中間決算取りまとめ後(11月上旬)に記載 行動計画の取組：良好 ○ 経営目標については、料金収入が計画を上回っており、支出についても工事・委託の合冊発注などによる費用縮減に取り組んでいます。 ○ 行動計画の取組については計画どおりに進捗しており、良好と評価しました。																																																																																																												
5 今後の課題・取組																																																																																																												
○ 電源接続案件募集プロセスは、優先検討連系希望者決定（H30.11月下旬）や、再接続検討結果の回答（H31.3月下旬）を経て、平成 31 年 4 月頃にプロセスが完了する予定です。優先検討連系希望者に決定した場合、事業化に向けて検討を行います。																																																																																																												
参考																																																																																																												
■四半期ごとの状況 ○電力料収入（百万円 税抜） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>年間</th> <th>1/4</th> <th>2/4</th> <th>上半期計</th> <th>3/4</th> <th>4/4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水力</td> <td>4,624</td> <td>1,275</td> <td>1,167</td> <td>2,442</td> <td>1,067</td> <td>1,115</td> </tr> <tr> <td>2,642</td> <td>1,394</td> <td>1,248</td> <td>2,642</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>57.1</td> <td>109.3</td> <td>106.9</td> <td>108.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">風力</td> <td>1,141</td> <td>285</td> <td>201</td> <td>486</td> <td>304</td> <td>351</td> </tr> <tr> <td>474</td> <td>297</td> <td>177</td> <td>474</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>41.5</td> <td>104.2</td> <td>88.1</td> <td>97.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">太陽光</td> <td>48</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>31</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>34</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>34</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>70.8</td> <td>105.9</td> <td>114.3</td> <td>109.7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>5,813</td> <td>1,577</td> <td>1,382</td> <td>2,959</td> <td>1,379</td> <td>1,475</td> </tr> <tr> <td>3,150</td> <td>1,709</td> <td>1,441</td> <td>3,150</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>54.2</td> <td>108.4</td> <td>104.3</td> <td>106.5</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 上段：予算 下段：実績 ※端数処理のため合計は一致しないことがある								年間	1/4	2/4	上半期計	3/4	4/4	水力	4,624	1,275	1,167	2,442	1,067	1,115	2,642	1,394	1,248	2,642				57.1	109.3	106.9	108.2			風力	1,141	285	201	486	304	351	474	297	177	474				41.5	104.2	88.1	97.0			太陽光	48	17	14	31	8	9	34	18	16	34				70.8	105.9	114.3	109.7			合計	5,813	1,577	1,382	2,959	1,379	1,475	3,150	1,709	1,441	3,150				54.2	108.4	104.3	106.5			○工事等の状況（2千万円以上）（百万円 税込） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">計画</th> <th colspan="2">実績</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>予算額</th> <th>件数</th> <th>発注額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16</td> <td>1,188</td> <td>10</td> <td>569</td> </tr> </tbody> </table> ※修繕・改良・委託合計。平成 29 年度契約済み工事等除く ※うち 2 件は入札不調等により今年度見送り			計画		実績		件数	予算額	件数	発注額	16	1,188	10	569
	年間	1/4	2/4	上半期計	3/4	4/4																																																																																																						
水力	4,624	1,275	1,167	2,442	1,067	1,115																																																																																																						
	2,642	1,394	1,248	2,642																																																																																																								
	57.1	109.3	106.9	108.2																																																																																																								
風力	1,141	285	201	486	304	351																																																																																																						
	474	297	177	474																																																																																																								
	41.5	104.2	88.1	97.0																																																																																																								
太陽光	48	17	14	31	8	9																																																																																																						
	34	18	16	34																																																																																																								
	70.8	105.9	114.3	109.7																																																																																																								
合計	5,813	1,577	1,382	2,959	1,379	1,475																																																																																																						
	3,150	1,709	1,441	3,150																																																																																																								
	54.2	108.4	104.3	106.5																																																																																																								
計画		実績																																																																																																										
件数	予算額	件数	発注額																																																																																																									
16	1,188	10	569																																																																																																									

I 電気事業
（取組分野） ④ 新規開発

1 経営目標の達成状況																																	
<p>【経営目標】</p> <p>○高森高原風力発電所建設の推進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>進捗目標</th> <th>実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設工事</td> <td>H28. 4～H30. 9</td> <td>H28. 4～H30. 9**</td> <td>概ね達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>○築川発電所建設の推進</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>進捗目標</th> <th>実績</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設工事</td> <td>H28. 10～H32. 3</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※高森、築川とも実績は、進捗目標期間終了後に記載 ※築川については、H33.6 運転開始予定であり、第 5 次中期経営期間内（H32.3 まで）の建設推進を目標としている。</p>	工程	進捗目標	実績	評価	建設工事	H28. 4～H30. 9	H28. 4～H30. 9**	概ね達成	工程	進捗目標	実績	評価	建設工事	H28. 10～H32. 3	—	—	<p>【参考】</p> <p>○築川発電所建設スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組項目</th> <th>実施年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係機関協議・許認可対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水利権申請・工事計画届出等</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td colspan="2">築川発電所建設の推進（現地工事）</td> </tr> <tr> <td>基礎掘削</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>水圧鉄管製作・据付</td> <td>H29～H30</td> </tr> <tr> <td>建屋基礎・建屋建築</td> <td>H29～H32</td> </tr> <tr> <td>水車発電機製作・据付・試験調整</td> <td>H29～H33</td> </tr> </tbody> </table>	取組項目	実施年度	関係機関協議・許認可対応		水利権申請・工事計画届出等	H28	築川発電所建設の推進（現地工事）		基礎掘削	H28	水圧鉄管製作・据付	H29～H30	建屋基礎・建屋建築	H29～H32	水車発電機製作・据付・試験調整	H29～H33
工程	進捗目標	実績	評価																														
建設工事	H28. 4～H30. 9	H28. 4～H30. 9**	概ね達成																														
工程	進捗目標	実績	評価																														
建設工事	H28. 10～H32. 3	—	—																														
取組項目	実施年度																																
関係機関協議・許認可対応																																	
水利権申請・工事計画届出等	H28																																
築川発電所建設の推進（現地工事）																																	
基礎掘削	H28																																
水圧鉄管製作・据付	H29～H30																																
建屋基礎・建屋建築	H29～H32																																
水車発電機製作・据付・試験調整	H29～H33																																
<p>【達成状況等】</p> <p>○ 高森高原風力発電所の建設工事（舗装工事、周辺環境整備等）は、概ね計画どおりに進捗し 9 月 28 日に完成しましたが、<u>道路案内板設置など一部工事が 12 月完成の見込みであるため、概ね達成と評価しました。（※）</u></p> <p>○ 築川発電所については、計画どおりに進捗しています。</p>																																	
2 行動計画の主な取組状況等（成果等）																																	
<p>○ 高森高原風力発電所の環境保全措置モニタリング事後調査については、計画どおり鳥類等の調査を進めており、<u>今後、報告書の作成を行います。</u></p> <p>○ 一戸町と高森高原風力発電所を環境学習の場として利用することについて協議し、今後、奥中山中学校の生徒を対象に<u>実施することとしました。</u></p> <p>○ 築川発電所の建設については、第 8 回の基礎地盤検査を実施するなど、計画どおりに進捗しています。</p> <p>○ 稲庭高原風力発電所の再開発の検討については、H30 単価で FIT 認定を取得するため、東北電力㈱へ系統連系申込みを行ったほか、<u>風車メーカーとの協議を行い工事費の精査に努めました。</u></p> <p>○ 新規水力開発地点の調査については、平成 29 年度と同じ 3 地点で流量観測を実施しています。</p>																																	
3 問題点等																																	
<p>○ 特になし</p>																																	
4 中間評価（上半期）																																	
<p>経営目標：（高森）概ね達成 行動計画の取組：概ね良好</p> <p>○ <u>経営目標の高森高原風力発電所の建設工事については、一部工事を除き計画どおり完成したので、概ね達成と評価しました。</u>また、築川発電所の建設工事は計画どおり進捗しています。</p> <p>○ 行動計画の取組については、<u>一部工事に遅れがあるものの概ね計画どおりに進捗しており、概ね良好と評価しました。</u></p>																																	
5 今後の課題・取組																																	
<p>○ 高森高原風力発電所の建設は、<u>道路案内板設置など一部工事の早期完成に努めます。</u></p> <p>○ 築川発電所の建設は、ダム側と調整を図りながら工事を進めていきます。</p> <p>○ 稲庭高原風力発電所の再開発は、引き続き事業化の方向性について検討を行うほか、<u>風況調査を実施します。</u></p> <p>○ 新規水力開発地点については、<u>流量調査や可能性調査を実施のうえ、事業化の検討を行います。</u></p>																																	
参考																																	
<p> </p>																																	

II 工業用水道事業
（取組分野） ⑤ 信頼性の確保

1 経営目標の達成状況							
【経営目標】 ○基本料金算定水量 ^{※1} （千m ³ ）					《参考指標》 ○供給停止件数・時間		
	年間	1/4	2/4	上半期計	3/4	4/4	評価
目標	14,304	3,570	3,609	7,179	3,603	3,522	達成
実績	7,220	3,584	3,636	7,220			
率(%)	50.5	100.4	100.7	101.4			
(調定水量 ^{※2})	7,243	3,594	3,649	7,243			
※1 基本料金算定水量：契約水量から施設の故障等によるユーザーへの給水停止により料金が免除となった水量を除いたもの ※2 調定水量：上記水量に、ユーザーが契約水量を超えて使用した水量（超過水量）を加えたもの							
○配管耐震化率(%)					○配管更新延長(m)		
目標		実績		評価			
60		-		-			
※耐震化工事終了後に記載							
【達成状況等】 ○ 施設の故障等によるユーザーへの給水停止はありませんでした。 ○ 基本料金算定水量は、雑用水供給の申込みに伴い、計画より若干増となり目標を達成しました。							
2 行動計画の主な取組状況等（成果等）							
○ 作業前のTBM-KY、作業後の反省会を定期的に行い、安全作業に努めています。 ○ 河川の高濁度に現地にて薬品注入率を変更し迅速に対応するなど、工業用水の安定供給を継続しています。また、トラブル対応マニュアル勉強会を実施するなど、不測の事態に備えています。 ○ 配管の老朽化対策と耐震化では、計画どおり第二北上中部工業用水道送水管（JR・国道4号）更新工事を契約し、現地施工の準備を進めています。 ○ 各施設設備の計画的な更新に向け、平成29年度に策定したアセットマネジメント計画を反映した年度別事業実施計画を策定しました。 ○ 流出事故及び工業用水道事業に係る広報・宣伝活動として、啓発用品（チラシ、ポケットティッシュ）作成し、関係機関へ配布しました。							
3 問題点等							
○ 特になし							
4 中間評価（上半期）							
経営目標：上半期は目標を達成 行動計画の取組：良好 ○ 経営目標については、安定供給を継続し達成しました。 ○ 行動計画の取組についても、年度別事業実施計画を策定するなど計画どおりに進捗しており、良好と評価しました。							
5 今後の課題・取組							
○ <u>今年度工事による設備変更等を受け、維持管理要領などのマニュアルの見直しを進めていきます。</u> ○ <u>一部工事の契約がやや遅れましたが、完成時期の遅れが生じないよう適宜工程管理に努めます。</u>							
参考							
■四半期毎の状況 ○使用水量（千m ³ ）					○アセットマネジメント計画		
	年間	1/4	2/4	上半期計	3/4	4/4	
計画	7,243	1,808	1,828	3,636	1,824	1,782	
実績	3,737	1,818	1,918	3,737			
	51.6	100.6	104.9	102.8			
※端数処理のため合計は一致しないことがある							
アセットマネジメント計画 アセットマネジメント（資産管理）とは、現有資産の法定耐用年数や経過年数から、資産の重要度・影響度に応じて更新時期を設定し、長期間に亘る更新費用や財政収支見通しを把握するものです。 企業局では、施設の老朽化が進むなかで、計画的・効率的に施設を更新し、持続可能な工業用水道事業を実現するため、平成29年度にアセットマネジメント計画を策定しました。							

II 工業用水道事業

（取組分野） ⑥ 経済性の確保

1 経営目標の達成状況																								
【経営目標】 ○ 經常収支比率（見込）			○ 収入・支出の状況（百万円 税抜）																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標 (%)</th> <th>実績 (%)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>101</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			目標 (%)	実績 (%)	評価	101	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>予算額</th> <th>実績額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>經常収益</td> <td>910</td> <td></td> </tr> <tr> <td>經常費用</td> <td>897</td> <td></td> </tr> <tr> <td>經常利益</td> <td>13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※中間決算：經常収益 475 百万円、經常費用 349 百万円 ※經常収益には、下記参考欄の料金収入のほか、財務収益や事業外収益が含まれています。					予算額	実績額	經常収益	910		經常費用	897		經常利益	13	
目標 (%)	実績 (%)	評価																						
101	—	—																						
	予算額	実績額																						
經常収益	910																							
經常費用	897																							
經常利益	13																							
【達成状況等】 ○ 上半期は供給停止がなく、ほぼ計画どおりの料金収入を確保しています。 ○ 主要工事においても、概ね計画どおりに発注・契約を行っています。																								
2 行動計画の主な取組状況等（成果等）																								
○ 契約水量の維持・増量に向け、17 ユーザーを訪問し、増産の見通しや増量の見込等について情報収集を行いました。 ○ 工業用水道施設の強化化対策及び新浄水場の建設等に対する支援について政府予算要望（6/8）を行ったほか、日本工業用水協会定時総会（6/8）に出席し、情報収集及び情報交換を行っています。 ○ 同一箇所・同種の工事等については、計画的に一体発注することで設計及び発注業務の効率化を図っています。 ○ 新たな水需要への対応として、配水管の新設・更新に係る詳細設計業務や高圧受変電設備改修工事を発注し、計画どおり進捗しています。																								
3 問題点等																								
○ 特になし																								
4 中間評価（上半期）																								
経営目標：中間決算取りまとめ後(11月上旬)に記載 行動計画の取組：良好 ○ 経営目標については、ほぼ計画どおりの収入を確保するほか、工事委託の合冊発注などにより業務の効率化及び費用縮減に努めています。 ○ 新浄水場建設について大規模事業評価専門委員会に諮り、事業実施は妥当と評価されたほか、政府予算要望による国への働きかけなどに取り組んでおり、行動計画の取組については計画どおりに進捗しており、良好と評価しました。																								
5 今後の課題・取組																								
○ 新たな水需要への対応については、関係機関と緊密に連携し、既設設備の改修及び新浄水場の建設等を適切に進めていきます。 ○ 決算概要説明等を通じて、ユーザーとの情報共有に努めます。																								
参考																								
■ 四半期ごとの状況																								
○ 料金収入（百万円 税抜）																								
	年間	1/4	2/4	上半期計	3/4	4/4																		
一般給水	622	155	157	312	157	153																		
	316	156	160	316																				
	50.8	100.6	101.9	101.3																				
ろ過給水	213	53	54	107	54	53																		
	107	53	54	107																				
	50.2	100.0	100.0	100.0																				
合計	836	209	211	420	211	206																		
	423	210	213	423																				
	50.5	100.5	100.9	100.7																				
上段：予算 下段：実績 ※端数処理のため合計は一致しないことがある																								
○ 工事等の状況（5 百万円以上） (百万円 税込)																								
計画(百万円 税込)		実績(百万円 税込)																						
件数	予算額	件数	発注額																					
8	273	6	213																					
※修繕・改良・委託合計。平成 29 年度契約済み工事等除く																								

III 共通的事項

（取組分野） ⑦ 地域貢献

1 経営目標の達成状況																	
<p>【経営目標】</p> <p>○地域貢献事業による温室効果ガス排出量の削減</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">目標（t-CO2 以上/年）</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">110</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">評価</td> </tr> <tr> <td>実績（t-CO2）</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </table> <p>※上半期実績：76.4t-CO2（完了済のクリーンエネルギー支援事業2件の導入設備及び植樹された苗木5,192本によるCO2削減量）</p>	目標（t-CO2 以上/年）	110	評価	実績（t-CO2）	—	—	<p style="text-align: center;">＜参考指標＞</p> <p>○地域貢献事業による平均年間支援件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="width: 15%;">指標</th> <th style="width: 15%;">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリエネ支援事業（件）</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">(12)</td> </tr> <tr> <td>植樹活動支援事業(地区)</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">(12)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※（ ）は見込</p>			指標	実績	クリエネ支援事業（件）	8	(12)	植樹活動支援事業(地区)	14	(12)
目標（t-CO2 以上/年）	110	評価															
実績（t-CO2）	—	—															
	指標	実績															
クリエネ支援事業（件）	8	(12)															
植樹活動支援事業(地区)	14	(12)															
<p>【達成状況等】</p> <p>○ クリーンエネルギー導入支援事業（完了済2件）及び植樹活動支援事業（植樹した苗木5,192本）による温室効果ガスの削減量については76.4t-CO2となり、今後、残りのクリーンエネルギー導入支援事業が完了した際は目標を達成する見込みです。</p> <p>○ クリーンエネルギー導入支援事業は参考指標を上回る支援件数となっています。植樹活動支援事業は、参考指標をやや下回る件数となっています。</p>																	
2 行動計画の主な取組状況等（成果等）																	
<p>○ クリーンエネルギー導入支援事業では12件（うち震災復興関連事業2件）の交付決定を行うほか、<u>台風10号災害への特別支援についても1件の交付決定を行いました。</u></p> <p>○ 植樹活動支援事業では、一次募集で申請のあった12件に対し、<u>5,192本の苗木を支援しました。また、二次募集の実施を決定し、10月末まで公募を行っています。</u></p> <p>○ 施設見学会は、大船渡市発着の沿岸コースを設定するとともに、1月1日に運転を開始した高森高原風力発電所などをめぐる全5コースとして開催（7/28開催）し、<u>計158名（前年度159名）の参加がありました。</u></p> <p>○ みずりん・みどりんおしらせ隊によるイベントへの参加のほか、各施設の見学を随時受け付け、<u>9月末時点で1,189人の見学者（平成29年度1,692人）を受け入れ、企業局の事業内容などを広くPRしました。</u></p> <p>○ 様々な世代・年齢層に企業局事業をPRするため、みずりん・みどりんのLINEスタンプを作成し、各イベント等でPRに活用しました。</p> <p>○ いわて復興パワーの取組は、4月から電気料金の割引を開始しました。<u>9月末時点で537件の申請を受理し、対象の企業等の1年間の電気料金、約1億7千万円が低減される見込みです。また、平成30年度の一般会計への繰出し額は、計画どおり約1億2千5百万円の予定です。</u></p> <p>○ 上記のほか、発電所の水量を一定に維持するなどして、<u>地域イベントへの協力を行っています。（下記参照）</u></p>																	
3 問題点等																	
<p>○ 特になし</p>																	
4 中間評価（上半期）																	
<p><u>行動計画の取組：良好</u></p> <p>○ クリーンエネルギー導入支援事業及び植樹活動支援事業を予定どおりに公募・支援決定を行い、<u>目標は達成できる見込みです。</u></p> <p>○ 行動計画の取組についても、<u>LINEスタンプ等の新たな取組を行うなど計画どおりに進捗しており、良好と評価しました。</u></p>																	
5 今後の課題・取組																	
<p>○ クリーンエネルギー導入支援事業の実施事業者に対し、進捗管理を適切に行います。</p> <p>○ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金及びいわて復興パワーの取組については、それぞれ平成31年度の一般会計への繰出しに係る事業選定を行います。</p>																	
参考																	
<p style="text-align: center;">＜温室効果ガス排出削減量＞</p> <p>○ 経営目標の温室効果ガス排出削減量（110t）は、一般的な家庭約30世帯が年間に排出するCO2に相当します。</p> <p style="font-size: 2em;">{</p> <p>※ 一般家庭の年間CO2排出量：3.5t-CO2/世帯 環境省 日本の温室効果ガス排出量の算定結果</p> <p style="font-size: 2em;">}</p>	<p style="text-align: center;">＜地域イベントへの協力＞（計7件）</p> <p>○ クレストゲート放流（観光放流）：4/21, 22 仙人 4/22 四十四田・御所</p> <p>○ 高校総体ボート競技：5/31～6/3 仙人</p> <p>○ 北上川ゴムボート川下り大会：7/22 四十四田</p> <p>○ 長内川祭り：8/5 滝</p> <p>○ 盛岡船っこ流し：8/16 四十四田・御所</p> <p>○ 北の大鮎バトル：8/26 四十四田・御所</p> <p>○ 賢治祭（イギリス海岸出現）：9/21～22 四十四田・御所</p>																

Ⅲ 共通的事項
（取組分野） ⑧ 組織力の向上

1 経営目標の達成状況				
【経営目標】			《参考指標》	
○ 専門研修受講者数				
目標（人（延べ）/年）		実績（人）	評価	
410		—	—	
※上半期実績：251人				
【達成状況等】				
○ 研修計画に基づき新採用研修や新任研修を行うほか、今年度新たにマネジメントに関する研修やVR（バーチャルリアリティ：仮想現実）技術を活用した安全体感研修を実施するなど、 <u>上半期の専門研修受講者数は251人（平成29年度：194人）と前年度に比べ増加しています。</u>				
2 行動計画の主な取組状況等（成果等）				
○ 職員研修検討会議で平成30年度の専門研修計画を決定し、それに基づき局内外の研修を随時行っています。				
○ 人材の確保に向け、インターンシップ受け入れや大学等を訪問して企業局のPRを行いました。				
○ 平成29年度の職員満足度調査の結果を受け、今年度新たにマネジメントに関する研修を実施しました。				
○ 職場環境の改善と職員のモチベーション向上を目的として、局長等と職員との意見交換会や局長と女性職員の意見交換会を延7回開催しました。				
○ 平成29年度に引き続き、業務上必要な第1種ダム水路主任技術者の資格取得に向け、県土整備部所管のダム点検へ同行する取組を行っています。				
○ 次期長期経営方針の策定に向け、経営計画推進会議幹事会や特定課題検討グループにおける検討状況について、経営計画推進会議や経営評価委員会等に報告し、意見を伺ったほか、局内における意見の聴取を行いました。				
3 問題点等				
○ 特になし				
4 中間評価（上半期）				
行動計画の取組：良好				
○ 経営目標については、研修計画に基づき着実に研修を実施しているほか、今年度新たにマネジメントに関する研修等を実施しており、目標は達成できる見込みです。				
○ 行動計画の取組についても、計画どおりに進捗しており、良好と評価しました。				
5 今後の課題・取組				
○ <u>工業用水の新たな水需要への対応に当たり必要な職員を配置するほか、昨年度から引き続き土木職などの欠員が生じていることから、採用計画に基づく新採用職員の確保や、土木職の確保のため関係部局への働きかけを行っていく必要があります。</u>				
○ 次期長期経営方針における「新たな取組」については、地域貢献をキーワードとした方向性で検討を進めます。				
参考				
《 企業局の専門研修 》				
区分		備考	受講者数受講者数(上半期)	
			H29	H30
局内研修	局内研修(8講座)	共通業務研修、新任職員研修など	84	141
局外研修	法定資格(45講座)	労働安全衛生法、電気事業法、消防法などにより義務付けられているものなど	99	83
	選択研修(35講座)	経営・財務、電気事業、工業用水道事業に関するものなど	11	27
合計			194	251
(参考) 所属内研修		各所属における研修(年度末に集計)	1,561	
※ 所属内研修はOJTを中心に行っており、各所属において業務や受講対象者の状況に応じて、主体的に計画・実施していくものであり、年度によって研修内容が変動することから、その受講者数は参考として記載している。				

I 電気事業（取組分野）① 電力システム改革への対応

取組項目	取組内容	実施項目	平成 30 年度目標	取組状況	取組状況
今後の電力市場整備に向けた対応	(1) 卸電力市場（相対取引等）活性化に係る情報収集と対応	①国審議会、他公営事業者の動向把握等の情報収集	H32 の電力受給契約に反映可能な最新情報の収集	※	<ul style="list-style-type: none"> 公営電気事業経営者会議 総務経営委員会に出席し、情報収集を行ったほか、<u>同委員会でシステム改革に係る調査研究事項に取り組んでいる。</u> 非化石価値取引の説明会等に出席し、情報収集に努めた。 <u>電力システム改革関連の制度が検討されている国の審議会や公営電気事業経営者会議などから収集した電力システム改革関連の情報等を随時局内に提供した。</u>
	(2) 非化石価値取引、容量メカニズム等に係る情報収集	①国審議会の動向把握等情報収集	将来の収入計画立案等の参考となる最新情報の収集	※	
	(3) 送配電網の維持運用費用負担の在り方に係る情報収集	①国審議会、電力会社の動向把握等情報収集	料金算定・契約等の参考となる最新情報の収集	※	
	(4) その他国や電力会社の動向を踏まえた対応や情報共有	①情報の見える化、局内共有化	収集した情報の共有、問題点の抽出	※	
計画値同時同量制度への対応	(1) 集中監視制御システムの改修	①システム改修方針検討		※	<ul style="list-style-type: none"> <u>局内で計画値同時同量制度に関する勉強会を開催し、今後検討すべき課題やスケジュールについて整理を行ったほか、他県の対応状況について情報収集を行った。</u> 集中監視制御システムによりインバランス量のデータを収集し、発生状況の分析を実施している。
		②計画値同時同量制度に関する情報収集	計画立案の参考になる最新情報の収集	※	
		③現状運用におけるインバランス量データの収集	インバランス発生状況の分析	※	

I 電気事業（取組分野）② 信頼性の確保

取組項目	取組内容	実施項目	平成 30 年度目標	取組状況	取組状況
安全で適切な作業等の実施	(1) 安全で適切な作業の実施	①機器ロック・試運転手順の見直し	点検作業時の供給停止発生ゼロ	※	<ul style="list-style-type: none"> 今年度発生した2件の供給支障については、迅速に現場対応し、原因調査のうえ応急対応を行った。今後、経過観察を行うとともに、必要に応じて追加の対策を実施する。 電気主任技術者が現場作業時の安全体制についてパトロール（計5回）等を行い、安全で適切な作業の実施に努めた。 仙人、入畑発電所において、電気事業法に基づく立入検査を受検し、法令違反等もなく、指摘事項無しであった。 定期安全管理検査制度に基づき適切に定期検査を実施した。（稲庭：上期実施、高森：点検終了、報告書作成中） 北ノ又第二発電所の地すべりについては、随時、国と情報共有しているほか、今年度実施予定であった北ノ又発電所取水堰堤補修工事は、打合せの結果、実施を見送ることとした。また、地すべり調査解析業務委託を発注し調査を実施している。
		②作業前の TBM 及び KYK と作業後の反省会	安全作業に対する共通認識の醸成と次回作業に向けた要改善点の抽出	※	
		③電気主任技術者のパトロール	作業時の安全体制の確認	※	
	(2) 風力発電設備の定期安全管理検査制度への対応	①定期安全管理検査要領書による自主点検の実施	検査内容に合致した運用、管理	※	
	(3) 発電設備の更新等に伴う保守要則の改定	①保守要則の改定	設備の新設・更新や法令改正などを受けて速やかに実施	※	
	(4) 北ノ又第二発電所の地すべり対策	①関係機関との情報共有	国の動向を見ながら対策を検討	※	
		②発電所周囲、管理用道路の状況調査及び地盤解析	現地調査の実施	※	
(1) 計画的な更新・改良・修繕工事等の実施 (2) 岩洞ダム共有施設の改良・修繕工事	(1)ア 水車発電機等分解点検工事の計画的実施	①入畑水車発電機分解点検補修	機器製作、施工【29・30債務負担】	※	<ul style="list-style-type: none"> 入畑水車発電機分解点検及び逆川1号・2号ポンプ分解点検補修については、概ね計画どおり現地工事を開始しており、いずれも工期内に完成する見込み。 北ノ又キュービクル更新は、契約方法等について検討を行っているため契約がやや遅れているが、H32の現地工事には影響ない見込み。 北二配電盤更新は、工事契約を締結し、機器設計を開始した。 河川法の勉強会を実施したほか、早期に協議に着手するとともに、設計段階から事前協議を開始するなど、計画どおり手続きを進めている。 岩洞ダム湖岸浸食防止は、一部工事が入札不調により平成31年度に先送りとなったが、概ね計画どおり進捗している。
		②逆川1号・2号ポンプ分解点検補修	2号施工【29・30債務負担】	※	
		③情報収集と仕様検討（胆二、早、松 等）	発注準備を計画的に実施 10ヵ年計画の精度向上	※	
	(1)イ 水力発電設備更新・改良工事の計画的実施	①北ノ又キュービクル更新ほか	設計、契約、機器製作【30・31・32債務負担】	※	
		②北二配電盤更新ほか	設計、契約、機器設計【30・31債務負担】	※	
	(1)ウ 河川法協議等の確実な実施	①協議スケジュール確認・協議・情報共有・進捗管理実施	協議スケジュール確認・協議・情報共有・進捗管理実施	※	
	(2)ア 岩洞ダム湖岸浸食防止	①工事の実施	平成30年度実施予定区間(1.5km)の現地工事完成	※	
電力土木施設の長寿命化（耐震化）	(1) 診断・設計	①滝発電所耐震診断業務委託	耐震診断実施	※	<ul style="list-style-type: none"> ②については、計画より多少発注が遅れたが、全体として概ね計画どおり業務に着手しており、計画どおり完了する見込みである。
		②仙人発電所耐震診断業務委託	耐震診断実施	※	
		③岩洞第二発電所耐震化設計業務委託	耐震化設計実施	※	
		④逆川揚水所耐震化設計業務委託	耐震化設計実施	※	
共同事業者との円滑な業務推進	(1) 共同事業者との定期的打合せ・情報交換	①利水関係者（農業用水関係機関、ダム管理者等）との打合せの実施	定期的な打合せの開催 適時の報告・説明・情報交換機会の設定	※	<ul style="list-style-type: none"> ダム管理者等との定期打合せを実施した。 農政局と設計協議、工事計画調整、取水停止計画及びダム水位運用計画等に係る打合せを随時行い、共通認識を持って事業の進捗に努めた。 共同事業者と定期打合せを実施 発電所近隣イベントに併せて施設見学を開催し、地元への理解促進を図った。（四十四田、岩洞第一、高森高原風力）
		②岩洞ダム共有施設改良工事に係る関係者との打合せの実施	適時の打合せ・情報交換機会の設定	※	
		③共同運転事業者との打合せの実施	定期的な打合せの実施	※	
	(2) 施設視察・見学への対応	①要請に応じた随時の視察・見学への対応	関係者や地元の業務理解の深化	※	

I 電気事業（取組分野）③ 経済性の確保

取組項目	取組内容	実施項目	平成 30 年度目標	取組状況	取組状況
適正料金の確保	(1) 平成32年度以降の電力受給契約に向けた検討	①売電方法の検討	次期長期経営方針（案）への検討成果の反映	※	○ 平成 32 年度以降の売電方法の検討に当たっては、局内に特定課題検討グループを設置し、売電に関する基本的な方向性や具体的な入札・契約方法の検討、売電単価の算出に必要な長期収支見通しの作成を進めている。 ○ 県内の新電力に対して、企業局からの電力購入などについてアンケートを実施したほか、東北電力㈱との打合せにおいてバランシンググループの取扱いなどの情報収集を行い、売電に係る課題や想定される入札・契約方法の検討を進めている。
施設の運用と機器の効率化	(1) 発電所の効率的な運用	①電力・ダム等共同事業者からの情報収集	発電停止に係る情報収集	※	・ 東北電力㈱と給電運用に関する打合せを実施した。 ・ 胆沢第二再開発検討業務に着手し、現況把握、更新範囲等を検討した。 ・ 募集プロセスについては、応募地点のうち経済的・技術的に優位な地点で応札した。
		②年間作業停止計画の策定	効率性を考慮した計画の策定	※	
	(2) 高効率機器の導入	①改修計画における高効率・省力化の検討	改修計画の検討・具体化	※	
	(3) 既設発電所の出力アップの検討	電源接続案件募集プロセスの費用対効果の検討	プロセスに係る分析と入札手続き	※	
未利用資産の活用・処分	未利用資産の活用・処分	処分実施計画に基づく計画の実行	土地評価額の見直し及び売払の実施	※	・ 未利用資産のうち、愛宕荘跡地について、一般競争入札を行ったが入札参加者がなかったため、先着順による売払（随意契約）へ移行した。なお、岩手県宅地建物取引協会及び全日本不動産協会岩手県本部へ媒介依頼を行ったほか、奥州市の広報誌への掲載を行いながら、引き続き売却に向けて取り組むもの。 ・ 新たな処分計画の策定は、第 3 四半期から取組予定。
		処分実施計画見直し	新たな処分計画の策定	※	
(1) 業務の効率化 (2) オーバーホール 更なる効率化	(1) 業務の効率化等による経費の縮減 (2) 点検・検査の内容省力化や周期延長等の検討	①同一箇所・同種内容の工事委託の一体発注	業務効率化による経費節減	※	・ 同一箇所・同種の工事等については、計画的に一体発注することで設計及び発注業務の効率化を図った。 （工事 15 件を合冊し 7 件、委託 78 件を合冊し 18 件とした。） ・ 技術担当課長会議及び特定課題検討グループ（電機、土木）において、局内の水車発電機分解点検補修工事の状況調査などを実施し、より効率的な維持管理方法等について検討を行っている。
		①オーバーホール、受変電設備の更新時期の検討 ②技術担当課長会議の開催	受変電設備の更新方法判定シートの作成、実施判定シートの拡大の検討（オーバーホール等） 技術的な事項に関する課題の解決や業務改善に関する情報等の共有	※ ※	

I 電気事業（取組分野）④ 新規開発

取組項目	取組内容	実施項目	平成 30 年度目標	取組状況	取組状況
高森風力の建設の推進	(1) 高森高原風力発電所建設工事の推進	①風力発電システム設置工事（舗装工事、周辺環境整備等）	工事完成	※	<ul style="list-style-type: none"> ・ 風力発電システム設置工事（舗装工事、周辺環境整備等）は、概ね計画通りに進捗し9月28日に完成した。なお、道路案内板設置などの一部工事は12月完成の見込み。 ・ H30.5.24 竣工式を開催し、地元及び県等の関係者や工事業者など約130名が参加した。 ・ 高森高原風力を環境学習の場として利用することについて一戸町と協議し、今後、奥中山中学校生徒を対象に実施することとした。
		②環境保全措置モニタリング（事後調査）	風車運転中の鳥類等の調査実施、調査結果公表	※	
		③地域との連携	工事の円滑な推進	※	
稲庭風力の事業方向性についての検討	(1) 平成33年度以降の事業方針決定	①風況調査の実施	事業の方向性の検討	※	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30 単価で FIT 認定を取得するため、東北電力㈱へ系統連系申込みを行ったほか、風車メーカーとの協議を行い工事費の精査に努めた。 ・ 再開発に必要な手続きやスケジュール等を確認したほか、風況観測を実施することを決定した。今後、再開発の実施方針や、開発スケジュールなどを検討する。 ・ 風況観測業務委託を11月から実施予定。 ・ 稲庭岳の他事業者の新規開発に進展なし
		②再開発の情報収集	リブレース等の課題検討、稲庭岳の風力開発の状況確認	※	
築川発電所建設の推進	(1) 関係機関協議・許認可届出対応	①基礎地盤検査（河川法）	ダム本体工程に応じた基礎地盤検査の実施	※	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダム本体工事の進捗に合わせ、第8回の基礎地盤検査を受検した。 ・ 水圧鉄管据付については、コンクリート巻立等の現場工事を進めており、約91%の進捗率である。 ・ 水車発電機等の承認図用の設計及び図面作成に着手し、順調に進捗している。
		②工事計画届（電気事業法）	第3回届出書類作成（短絡強度計算書）	※	
	(2) 築川発電所建設の推進	①基礎工事（負担金工事）	基礎掘削、基礎工事	※	
		②水圧鉄管製作・据付	製作及び据付	※	
		③水車発電機製作・据付等	詳細設計実施及び申請書類作成	※	
新規水力開発地点の調査	(1) 開発に向けた情報収集及び調査	①流量調査	調査地点の流況を把握する（3地点）	※	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発可能性のある3地点について、流量観測を実施するとともに、可能性調査業務委託を発注し、最適ルートを検討、経済性の評価及び建設コスト削減等の検討に着手した。 ・ 募集プロセスについては、応募地点のうち経済的・技術的に優位な地点で応札した。【再掲】
		②可能性調査	事業化の可能性を検討する	※	
		③電源接続案件募集プロセスの費用対効果の検討【再掲】	プロセスに係る分析と入札手続き【再掲】	※	

II 工業用水道事業（取組分野）⑤ 信頼性の確保

取組項目	取組内容	実施項目	平成 30 年度目標	取組状況	取組状況
安全で適切な作業等の実施	(1) 安全で適切な作業等の実施	①早めの作業準備、反省会の実施及び改善等	労災ゼロ	※	<ul style="list-style-type: none"> 作業前の TBM-KY による作業の安全確保や反省会による改善等の抽出などを今後も継続し、安全作業に努めていく。 河川の高濁度に薬品注入率を変更し迅速に対応するなど、工業用水の安定供給を継続した。 トラブル対応マニュアル勉強会を実施するなど、不測の事態に備えている。
	(2) 自然災害や不測のトラブル発生時の迅速な対応、情報伝達	①トラブル対応訓練及び情報伝達訓練の実施	個人及び組織の対応能力向上	※	
	(3) 維持管理要領などのマニュアル見直し	①設備変更等の都度にマニュアルの見直し	最新設備等への関係マニュアルの整備	※	
計画的な更新・改良・修繕工事等の実施	(1) 各施設設備の更新・改良・修繕工事	①第二工水金ヶ崎配水池ほかコンクリート構造物補修工事	H30年度工事完成	※	<ul style="list-style-type: none"> (1)①は契約がやや遅れており 10 月に公告予定であるが、年度内に完成できるよう工程管理を進めていく。 アセットマネジメント計画を反映した年度別事業実施計画を計画どおり策定した。
		②金ろ(第二期)ろ過器弁類ほか更新工事	H30年度工事完成	※	
	(2) アセットマネジメントの計画策定	①アセットマネジメント計画の年度別事業実施計画等への反映	年度別事業実施計画等への反映	※	
配管の老朽化対策と耐震化の推進	(1) 第二工水送配水管更新工事	①送水管更新(JR・国道横断部)更新工事	耐震化率60%	※	<ul style="list-style-type: none"> 工事・委託の契約締結が計画より多少遅れたが、関係機関等の調整や業務打合せ等は概ね順調に進捗しており、計画通り完成する見込み。
		②配水管更新(金ヶ崎配水池～金ろ付近)詳細設計業務委託	H30年度業務完了	※	
河川への油流出防止活動	(1) 各種イベントにおける事故防止啓発用品の配布等	①油流出事故及び工業用水道事業に係る広報・宣伝活動	油流出事故防止について一般県民への周知	※	<ul style="list-style-type: none"> 花巻市・北上市の広報への掲載依頼を行うなど、油流出事故防止について一般県民に周知した。 水質事故発生時は可能な限り流出現場へ向かい、水質事故状況を確認するとともに、ユーザーへ情報提供を行って、情報を共有することにより信頼の維持に努めた。
		②水質事故の情報提供	ユーザーへの速やかな情報提供	※	
		③水質汚濁対策連絡協議会による活動	水質事故対応能力の向上	※	

II 工業用水道事業（取組分野）⑥ 経済性の確保

取組項目	取組内容	実施項目	平成 30 年度目標	取組状況	取組状況
(1) 契約水量の維持・増量に向けた取組 (2) 工業用水事業の理解促進に向けた取組 (3) 老朽化対策補助金制度創設の働きかけ	(1) ア 知事部局と連携した企業誘致や既存ユーザー企業への働きかけ	①関係機関との情報交換及びユーザー企業への適時適切な増量の働きかけ	使用水量の動向を把握しながら、適時適切にユーザー企業に増量を働きかける	※	<ul style="list-style-type: none"> 定期的ユーザー等を訪問し、関連情報等の収集を行った。 政府予算要望等を実施し、国庫補助事業枠の拡大などについて働きかけを行った。
	(1) イ 関係市町からの企業情報収集及び誘致要請	①関係市町との情報交換及び新たな工場立地の動向に応じた協議	情報交換を随時実施し立地計画が具体化した時点で対応	※	
	(2) ユーザー企業との定期的な情報交換及び企業局の経営状況の説明	①年 2 回のユーザー企業訪問による情報交換 ②工業用水道事業会計決算概要の説明	全ユーザー企業との情報交換及び経営状況の理解を得ること	※	
	(3) 国への働きかけ	①地方公営企業連絡協議会等を通じて国へ要望	国庫補助事業枠の拡大	※	
新たな水需要への対応	(2) 工業用水の給水へ向けた取組	①給水に向けた取組	ア配水管新設及び更新 イ高圧受電設備改修 ウ沈殿池増設設計等	※	<ul style="list-style-type: none"> 配水管新設及び更新について、予定どおり発注するなど、給水に向けた施設整備は、概ね計画どおり進んでおり、<u>計画通り給水が可能となる見込み。</u> <u>新浄水場建設について大規模事業評価に諮り、事業実施は妥当と評価された。</u>
業務の効率化	(1) 業務効率化等による経費の縮減	①工事、委託、巡視等効率的な運用	ア 合冊発注による経費縮減 イ 工事等における供給停止時間の短縮による料金免除額の縮減	※	<ul style="list-style-type: none"> 同一箇所・同種の工事等については、計画的に一体発注することで設計及び発注業務の効率化を図った。<u>(工事 21 件を合冊し 5 件、委託 29 件を合冊し 6 件とした。)</u>

Ⅲ 共通的事項（取組分野）⑦ 地域貢献

取組項目	取組内容	実施項目	平成 30 年度目標	取組状況	取組状況	
(1)クリーンエネルギー導入支援等 (2)一般会計への繰出し	(1) クリーンエネルギーの導入支援	①平成 30 年度クリーンエネルギー導入支援事業の実施	事業の推進	※	<ul style="list-style-type: none"> クリーンエネルギー導入支援事業は、12 件（うち 2 件は震災関連）の支援を決定し、<u>9 月末までに 2 件の事業が完了した。</u> 台風第 10 号災害への特別支援については、<u>岩泉町の防犯灯災害復旧事業に支援を決定した。</u> 知事部局への繰出しは、H30 事業への繰出しを決定したほか、<u>H31 対象事業の募集を行っており、今後、対象事業の選定を行う。</u> 	
		②平成 31 年度事業実施に向けた整理及び検討	平成 31 年度に向けた事業の検討	※		
		③台風第 10 号災害への特別支援の実施	事業の推進	※		
	(2) 知事部局の環境保全関係事業等への支援	①平成 30 年度事業成果確認	9 事業 32,517 千円に繰出	※		
		②平成 31 年度対象事業検討・調整	新規対象事業の掘り起し	※		
(1)植樹活動支援等 (2)企業局の環境保全の取組の情報発信	(1) 植樹・育樹活動への支援・参加	①県内植樹活動への支援	年度内の植樹活動支援事業完了	※	<ul style="list-style-type: none"> 12 地区の植樹祭に 5,192 本の苗木を提供するとともに、8 地区の植樹祭に延 82 名の職員が参加した。(H29: 8 地区、延 65 名) 環境保全リーフレットを最新データに更新し、多くの参加者が見込まれるイベントで主催者を通じ随時配布を行なった。また、リーフレットはホームページで公開し周知を図っている。 	
		②県内植樹活動への参加	職員の参加	※		
		③実施団体等へのアンケート実施・分析	アンケート回収、分析	※		
	(2) 環境保全情報リーフレットの作成・配布等	①リーフレットの最新データへの更新	内容の確認・見直し	※		
		②リーフレットの活用	イベント等でのリーフレットの配布	※		
(1)企業局取組への理解促進に向けた取組 (2)県民とのコミュニケーション活動の実施	(1)ア ホームページの充実	①掲載情報の随時更新	速やかな情報掲載	※	<ul style="list-style-type: none"> 上半期のホームページ閲覧件数は 7,889 件(昨年度 9,419 件) 『みずりん・みどりん』おしらせ隊は、上半期で 8 件のイベントに 38 名の職員が出動し PR を行った。 施設見学会は、7/28 に全 5 コースで開催し、<u>158 名の参加があった(昨年度 159 人)。</u> 様々な世代・年齢層に企業局事業を PR するため、みずりん・みどりんの LINE スタンプを作成し、各イベント等で PR に活用した。 見学者の随時受入れは、9 月末までに 1,189 名の見学者を受け入れた(昨年度同時期 1,692 人)。 	
		②ホームページ掲載内容の充実	掲載内容の確認、充実	※		
	(1)イ 『みずりん・みどりん』おしらせ隊の活動	①他部局との連携、主催イベントへの参画	イベント等への参画、普及啓発活動の実施	※		
		(2)ア 施設見学会等の開催	①平成 30 年度施設見学会の開催	参加者への企業局の事業内容及び社会的役割の理解		※
	(2)イ 見学者の受入れ		②平成 31 年度事業実施に向けた整理及び検討	平成 31 年度に向けた事業の検討		※
		(1)電気料金低減への取組 (実施主体：東北電力)	①受付・審査業務	累計 1,000 件又は年間使用電力量 554,000MWh		※
	②支援対象要件の見直し等		(必要に応じて見直し)	※		
③周知活動	県政ミニ番組等を活用した広報の実施	※				
(2) 一般会計への繰出し (事業主体：企業局)	①平成 30 年度事業	5 事業 125,500 千円繰出し	※			
	②平成 31 年度事業	充当事業の選定、当初予算の計上等	※			

Ⅲ 共通的事項（取組分野）⑧ 組織力の向上

取組項目	取組内容	実施項目	平成 30 年度目標	取組状況	取組状況
(1) 組織体制の充実 (2) 人材の確保・計画的な育成	(1) ア 事業運営に必要な組織体制の整備	①平成 31 年度組織体制の検討	平成31年度の業務運営に最適な組織体制を確立	※	・ 平成 31 年度組織・定数の調整に係る基本方針を決定し、検討・協議を進めている。
	(1) ア事業運営に必要な組織体制の整備（新浄水場建設）	①浄水場建設事務所(仮)設置に向けた体制の検討	必要な人員等の組織体制の確立	※	・ 平成 31 年度の職員採用試験の結果、電気職・機械職共に予定数を確保できる見込み。
	(1) イ 適正な人員配置	①欠員解消等人材の確保について知事部局等と協議	必要人員の確保	※	・ 電気職及び機械職の人事交流について、知事部局（県土整備部）と、人材確保や人事交流に係る情報交換を行った。(8/1)
	(1) ウ 知事部局等との人事交流	①知事部局等との人事交流にかかる協議	必要人員を確保しつつ、人材育成のため人事交流を継続	※	・ 職員満足度調査の結果を受け、今年度新たにマネジメント研修を実施した。
	(2) ア 大学等への積極的なリクルート活動	①職場見学会の実施、セミナー等への参加	必要な人材の確保	※	・ 職場環境の改善と職員のモチベーション向上を目的として、局長等と職員との意見交換会や局長と女性職員の意見交換会を延7回開催した。
	(2) イ 職員向け研修の充実	①職場内研修やO J T を所属横断的に実施	職場内研修やO J T の充実	※	・ 企業局職員研修検討会議で、今年度の専門研修計画を決定し、計画に沿って職場内研修等を実施している。
	(2) ウ 若手職員の計画的な育成	①専門研修体系による計画的な研修実施	計画に沿った研修の実施	※	・ 新採用職員向けの研修を集中的に実施した(4-6月)ほか、各種保守作業の中でO J Tによる技術継承を行っている。
(1) 技術の継承、幅広い知識の習得のための取組 (2) 業務上必要な資格者の育成・支援	(1) ア 技術の継承	①職場内研修やO J T を所属横断的に実施	職場内研修やO J T の充実	※	・ 第1回企業局職員研修検討会議で、職場研修や職場外研修等について情報共有、意見交換を実施した。(5/28)
	(1) イ 幅広い知識の習得	①職場内、職場外研修での知識習得	職員の知識習得に必要な研修を受講させる。	※	・ 9月末までの専門研修受講者数は251名(昨年度194名)となっている。
	(2) ア 有資格者の状況の把握	①試験受験者の受験結果把握と経験による取得可能性の整理	取得可能性リスト整理	※	・ 第2種電気主任技術者の実務経験による資格取得の支援により、資格取得者が1名あった。
	(2) イ 人材育成や資格取得のための支援	①計画的な人員配置と積極的な資格取得の奨励	資格取得者の増	※	・ 電気主任技術者の試験による受験を奨励するとともに、局職員による講習会を実施するなどして支援を行い、2種6名、3種17名が受験した。(結果発表は10月以降)
リスクマネジメントの取組	(1) 共有すべき事案の洗い出し、個表作成	①今後起こり得る事案・対応等検討 ②過去事案の追加分検討	事案の個表化、情報の共有	※	・ 今後のリスクマネジメントの方向性について、検討会議を設置して検討を進め、枠組みやスケジュールを決定して局内へ通知した。
	(2) 今後のリスクマネジメントの取組検討	①スケジュール、枠組みの検討	スケジュール、枠組みの決定	※	・ 今年度は、重要度の高い事象を抽出する。
(1) 危機管理対策 (2) 安全衛生対策の充実	(1) ア 災害応急対策マニュアルの見直し	①年度当初の組織変更による見直し、訓練結果反映による見直しの実施	災害応急対策マニュアルが随時見直されていること	※	・ 災害応急対策マニュアルを更新したほか、非常連絡訓練、夏季安全パトロールを実施し、災害時への対応や事故防止対策に取り組んでいる。 ・ 安全面では、労働災害無事故継続中(総管5年)
	(1) イ 防災保安訓練 等	①企業局全体や各業務ごとの訓練の実施	訓練を実施し、結果を検証し、マニュアル等に反映されていること	※	
	(2) ア 安全パトロールの実施	①安全保安会議による安全パトロールの実施	夏季、冬季安全パトロールによる事故防止	※	
	(2) イ 労働災害無事故表彰の実施	①管理所の無事故達成にかかる表彰の実施	労働災害無事故の継続	※	
長期方針、経営戦略等の検討 新規取組項目	(1) 次期長期経営方針の検討・策定	①次期長期経営方針(案)検討	次期長期経営方針(案)作成	※	・ 次期長期経営方針の検討状況について、経営評価委員会等に報告し、意見を伺ったほか、局内における意見の聴取を行った。
		②売電方法の検討【再掲】	次期長期経営方針(案)への検討成果の反映	※	・ 今後の売電方法の方向性や新たな取組等について、局内に検討グループを設置して検討を実施し、売電に関する基本的な方向性や現時点で想定される入札・契約方法の抽出などを行った。【再掲】
		③新たな取組の検討	次期長期経営方針(案)への検討成果の反映	※	